



■秋田市景観マップとは

秋田市では、市民の皆さんが知らなかった景色の発見や、本市の魅力を再発見できるように、景観資源を7地域に分け、地図と写真でまとめた「秋田市景観マップ」を作成しました。

■秋田市景観マップの取組について

後生に残したい景観や新たな地域の景観資源について、市民から意見を募集し作成しました。景観マップは、紙面のほかに、市民でなくとも閲覧できるようにWEBでも公開しています。



北部地域

秋田港を中心とした北部地域には、歴史ある街並みや田園、丘陵地など豊かな自然環境があります。秋田港は港湾機能に加えて国内外の観光客の交流の場となっています。



東部地域

東部地域は、市街地の東側には農地や樹林などの自然環境が広がり、秋田市のほぼ全域から眺められ、古くからの信仰となってきた太平山の雄大な景観が展開します。



中央地域

行政、経済および産業などの各種機能が集積する中央地域には、都市機能の中枢を形作る多様な景観があり、駅周辺地区では、都市緑化の推進や適切な大規模建築の誘導が図られています。



西部地域

雄物川の流れに沿って街並みが形成された西部地域は、雄物川の南側と北側で性格が異なり、南側は歴史的な建造物が建ち並ぶ街並みがあり、北側は大規模な工業団地やスポーツ施設が形成されています。



南部地域

南部地域は、ショッピングモールをはじめとした商業、流通および工業機能があり、河辺・雄和地域の都市機能を補う地域連携拠点としての役割を担っています。写真の桜並木は、2 kmに渡って続き、市街地に水と緑の潤いを与えています。



河辺地域

太平山や岩見川の自然景観が続く河辺地域は、田園による眺望景観が展開し、旧羽州街道沿線には、今も歴史的な街並みが形成されています。



雄和地域

雄和地域は、県内最大の河川である雄物川が流れ、周辺には農地や山林が広がっています。高尾山を中心とした緑の景観資源は、雄物川の水辺景観とともに地域に潤いを与えています。